



加治丘陵だより

E-mail iruma@npo-kajikyuryo.net URL <http://www.npo-kajikyuryo.net>

平成29年4月28日

第26号

NPO法人
加治丘陵山林管理グループ

平成29年度に向けて

理事長 大山 博



本年創立15周年を迎えた当グループは、その間の経験と実績を踏まえ、安全第一で作業に臨み、ご評価を得られる結果を残すべく頑張ってまいります。

機構改革のあった入間市担当部、担当課とのコミュニケーションを高めながら活動を進めていきたいと考えています。

過去にない大きな事業である「自然探勝路」の建設作業が具体化され、本年度は本格的な作業に入ります。この加治丘陵の北コースと南コースを結ぶ遊歩道の建設は、240段に及ぶ階段の設置もあり、この丘陵も大きく変貌してまいります。市内外の来訪者が加治丘陵の散策を楽しめるような美しい景観を保ちながら、会員同志の絆を深め、技術を高め、無事故で引き続きすばらしい実績を残せるよう会員一同決意を新たにしています。

創立15周年記念事業も記念総会に始まり、多くの事業が企画されていますので、是非会員各位のご参加を心よりお待ちしています。更にグループの運営や各行時開催に対し一層身を引きしめ、真剣に取組んでまいります。

[寄稿文]

こころの安心プラン「い・つ・も」発売秘話《前篇》

賛助会員 (株)いわさき 会長 岩崎 茂



ひな人形職人が家族を飢えさせないために、日銭の入る仕事をと始めた岩崎葬具店が、今年で創業85年を迎えた。二代目を引き継ぐはずの私は、昭和34年の春、豊岡実業を卒業したが、父親と葬具屋をやるのを嫌って武藏町役場(現入間市役所)に就職。わずか3年間だったが、広報係の仕事に携わった。担当の「武藏町報」が埼玉県コンクールで特選入選。青年時代のこの経験は、後の広告関係の仕事に大いに役立った。この役所勤めも父親が病に倒れたことで退職し、しぶしぶ家業を継ぐつもりが、思いがけず商売の面白さを感じるのに時間はかかるなかった。

仏壇の新聞折込みチラシや故人さまの生前エピソードなどを作成し、ご出棺時に会葬者の方々へお伝えする。これは役所勤めから教えられた思いがけない成果と自負している。「人生には何一つ無駄はない」という先人の言葉を、今まで幾度となく体験してきたものである。

時代は変わった。昭和の時代なら「縁起でもネエ」と言われた「葬式の話」が、今は「終活・葬儀式場見学会」など死を迎えるための事前準備が当たり前の時代となつた。企業競争も激しさを増す中、(株)いわさきの存続をかけた「新時代への企業体質づくり」に没頭したのが平成15年のころ。中でも「次世代型冠婚葬祭会員制度」の仕組みが完成まじかで、その出来栄えに自信があった。ただ、もう一度消費者目線でと、50年来の友人「大山 博」君のアドバイスがあり、NPO法人加治丘陵山林管理グループのメンバーからの意見聴取。その問題点指摘検討会で、元銀行員の一人から、「会員から集めたお金はどのように運用するのか。預け先は?」などという幾つかの有意義な意見があった。当時、冠婚葬祭互助会は、国から許可を受けた企業が400有余社あったが、中には預り金の運用に失敗して、社会問題にまで発展したケースも出てきた。このようにならないために「預り金は投機に運用せず金融機関に全額預ける」と自説を申し出た。

当時、銀行の倒産、ペイオフが社会的ニュースとなっており、銀行預金のリスクが参加者から指摘された。その意見と顧問弁護士からの指導の結果、安全な法務局への供託を決定した。

後に経済産業省からの特別許可を受けた「こころの安心プランい・つ・も」はNPO法人加治丘陵山林管理グループの皆さまのお知恵をいただき、今年で発売10年を迎えた。このように「い・つ・も」は加治丘陵山林管理グループの皆さんによって、作り上げられたといつても過言ではないのです。これからも「い・つ・も」は「会員さまを第一に」をモットーにして、満足し喜んで頂けるよう一層の努力を続けます。

いつまでも変わらぬご指導をお願いします。(後編は次号掲載予定)

創立15周年記念事業がスタート

当グループは、今年でめでたく創立15周年を迎え、各種の記念事業を計画しております。

【主な記念事業】

- 1、15周年記念総会 5月27日(土)13:30より 於・市民会館3階1号室
記念講演会 14:40より 講師・田中龍夫入間市長
演題・「50周年を終えて新たなスタート」
記念祝賀懇親会 15:30より かっぽれ・民謡・フラダンスあり
- 2、記念森林視察研修旅行：9月3日(日) 予定、場所未定
- 3、記念誌「加治丘陵だより」の発刊、10月予定
- 4、記念品 ボトルを全会員と関係者に配布（右写真のもの）



作業報告

副理事長・作業班長 菱川浩次

平成28年度実績

延作業日数：102日、延作業人員：1,337名、延作業時間：4,277時間

下草刈り総面積：125,845m²、伐採総本数：2,492本、

自然探勝路用丸太材の皮むき：444本

平成28年度も会員の皆さまのご協力により、無事故で予定通り終了することができました。最近は作業出席人数も増え、作業のスピードも上がっております。その反面、事故の危険率も高まるので、一人ひとりの安全意識の高揚を図りつつ作業活動を行っているところです。

平成29年度予定

全体の作業量は昨年度と変わらない予定。

ただし、内容は昨年から続く自然探勝路（南コースと北コースを結ぶ新しい遊歩道）が大きな作業となります。昨年、皮むきして用意しておいた丸太材を利用し、階段約240段、8mの丸太橋などを設置しますが、運搬などハードな作業が予想されます。これが完成すると、加治丘陵を訪れる人はさらに多くなるでしょう。その人たちにもっと加治丘陵を楽しんでいただくため、一層気合を入れて頑張りましょう。今年もまた全員一致協力して、無事故で目標を達成しましょう。



雑木・下草刈り作業時 26名の参加者

2017.1.20 小林五郎 会員 撮影

グループ活動に参加して

会員No.463 宮岡 八洲夫



40年勤めていた会社を退職し、何か新しいことにチャレンジしたいと考えていたところ、知人からこの会に参加してみないかと声をかけられた。今まで全く縁のなかった、加治丘陵での作業は不安もありましたが、思い切って参加することにしました。

もともと、体を動かしたり、物を作ったりするのが好きだったので、自然に囲まれた山の中での当グループの活動は想像以上に楽しいものでした。また、作業を通して新しい出会いもあり、自分の世界が一つ広がったことも大きな収穫でした。

今後も健康に留意し、楽しみながら山林管理のお役に立てるよう活動したいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。

会員No.475 成松 幹男



昨年、6月に会社を退職し、これからは身体を動かすことができて、社会貢献も少しできたらと思っていたとき、あすか歯科医院に行ったところ、当グループの会員である川島院長先生から会員募集のチラシを見せられ、これだと思い参加させていただきました。

長年事務屋として勤務していたので、里山の仕事が出来るか、足手まといになるのではないかという気持ちで不安でしたが、先輩方のご指導でなんとか手伝わせてもらっています。

今は手探り状態ですが、あせらず一歩一歩山仕事を覚え、貴重な里山である「加治丘陵」の保全に少しでも貢献出来たらと思っています。私のような素人でもなんとか、スタートラインに立てたのは暖かいグループの皆さんのお陰です。

今後とも、引き続きよろしくお願いします。

【会員情報】 外来動物を捕獲（加治丘陵から来た？）



アライグマを捕獲

会員No.338 河原町 あすか歯科医院 院長 川島徹也

最近、夜な夜な自宅周辺をうろつく異様な動物を見かけるようになった。

そこで昨年10月、入間市より捕獲用オリを借用して仕掛けた。早速カラス1羽、野良ネコ3匹が最初にかかり、続いてアライグマ、タヌキ、テンガ1匹づつ次々にかかった。タヌキは2回捕まえたが、日本古来の動物のため遠くへ放されたもよう。

現在もまだ近くの畠が荒らされている。

これは人間による自然破壊の現象だろうか…。



捕獲した
タヌキ

新入会員ご紹介

会員番号 氏名(敬称略)

(4月10日現在)

476 山本 明大 477 内村 忠久 478 前島 誠一
479 斎藤 紘一 480 嶋村 完治

入会のお説明

= 会員になって活動を支えて下さい。 =

●我々はボランティアで活動しています。

●191名の会員が汗を流して頑張っています。

●年会費 正会員(個人) 2,000円

賛助会員(会社又は団体) 1口10,000円

●加入連絡先 04-2932-4515 (大山 博)

【わたしの趣味】花好きから盆栽へ 会員No.414 理事 橋本喜代治



私は十代半ばごろから植物に興味を持ち、縁日で草花を買って庭に植えたりしていた記憶が残っています。それからしばらくして、親戚や知人宅に並べられたサボテンを目にして変化に富んだ様々な形、そして春から夏にかけて原色の綺麗な花を咲かせるさまに魅せられて、一坪ほどの温室を作り百種類以上のサボテンを収集することになりました。

20代ごろには、サカタ園芸の通信カタログを見て、さつき 露月の綺麗な花と花芸はなげい（1本の木から多色の花を咲かせる）に感銘し苗を購入して仕立て初めました。このことが盆栽を始めるきっかけとなりました。

それからほぼ50年、冬の時期を除いてほとんど毎日の水やりや針金かけ、消毒、施肥、植替えを継続しています。

私は、出来上がった盆栽は高価なので手が届かないこともあります、実生苗や小さな鉢植えなどから盆栽に仕立てるのを楽しみにしています。感性や技術はまだまだですが、今では露月、松、雑木、草ものなど手のひらに2ないし3鉢乗るものも含めて数えてみると、800鉢以上を育てています。

最近は、赤松の文人（下枝を持たず細い幹が飄々と立ち上がった樹冠の小さい樹形）作りや、山もみじ、そして長寿梅などに興味をもち、盆栽と対話をしながら心落ち着く至福のひと時を求めて続けています。



庭の盆栽棚

（編集部追記：総会・講演会舞台の盆栽も橋本会員の提供です）

イベント結果報告

●忘年会

昨年12月23日(祭日)12:00より市民会館3階1号室にて開催。

田中龍夫市長ほか多数の来賓を含む過去最大の78名が出席。先の市主催で11月1日に開催された、市制施行50周年記念式典で名誉市民ほか各種功労者38名が表彰されたが、その中には当グループ会員が7名も含まれていた。この方々に大山理事長よりそれぞれお祝いの花束を贈呈して祝福された。



表彰された7名の会員

●楽山ゴルフ会コンペ

昨年11月9日(水)美里ロイヤルゴルフクラブにて開催、13名参加。今回から初めてのハンディキャップ戦でしたが、ハンディ30の砂川英昭会員が過去11回の参加で初めて優勝した。

●お花見

4月7日㈮12:00より愛宕公園にて開催、50名参加。開花が遅れたため予想外の満開のもと、15周年に相応しく華やかな宴会となった。

お知らせ

(総会その他については前述の「15周年記念事業について」のとおり)

○第6回いいるま環境フェア 10月1日(日) 産業文化センター 10:00~16:00 出展につき来場されたし。

○暑気払い（納涼花火の夕べ） 7月25又は26日 彩の森入間公園 例年通り池の端付近で予定。追って詳細連絡。

※(注)「カブトムシとり大会」は養殖床再構築の必要性あり今年は中止とします。

～編集後記～ 最近の新入会員は作業でも各種イベントでも出席率が非常に高い。3年ほど前には考えられなかったが作業も3班に分けるなど、作業班長も割り振りに苦慮している。総会なども会場設定に担当者は四苦八苦。いずれも誠に嬉しい悲鳴ではあるが、これも団塊世代の大量高齢者の一時的現象だけに終わらせたくないもの。

(編集委員長 小林貞治郎)